

## JGS 宝石勉強会

オパールマスターセットに観る世界のオパール  
『オパールはすごい!』のレポート

島村 恵里

JGS 宝石勉強会の案内をいただいて、すぐに参加をきめたのが、前回参加した「翡翠を化学式から見る…色々なヒスイと呼ばれる宝石達」と今回のオパールの勉強会でした。前回も、とてもアカデミックな内容で、さらに鑑別の実習付きで久々に顕微鏡をのぞいたり、蛍光を観察したり、とても楽しい時間でした。

アンデュールー・コーディー氏のオパールマスターセットと聞いただけで、参加しないわけにはいきません。堀内信之副理事長のお話は、本日のトピックス、はやぶさ2のりゅうぐう着陸から始まりました。まさにその日でした。はやぶさ2は、地球の起源や生命の起源を探求するために小惑星から試料を採取するミッションを遂行中です。確かに私たちが宝石をみることができるのも、その地球が創造したものであることに気が付かせてくれました。

オパールマスターレファレンスセットは、コーディー社で60セットが製造され、55セットが販売されたそうで、本日みせていただいたセットは、日本に2セット入ってきたうちのひとつで大変貴重なものでした。216ピースのオパールで1セットが構成されています。鑑別・分類・評価に有効とされ、グレーディング用ではなく、色・種別・品質の認識と共有に有効、参考書や、分類のための見本、より正確なコミュニケーションのツールとして使うこととされています。

しかし、なぜオパールの分類が必要になったかという、一番の理由は、90年代からオーストラリア以外の多くの国からハイドロフェンタイプのおパールが産出され、さらにはeコマースの発達により、消費者に正確な情報が伝わらないまま販売されてきてしまったという反省から、業界の教育用にといったもののようです。

オパールは、まず3つに分類

1. 天然
2. 処理石 (天然、人工石も含まれる)
3. 人工石

細分化して最終的には8つのカテゴリーに分類します。オパールマスターレファレンスセットは、このカテゴリーごとに1枚のプレートに入っています。

- ① 天然—遊色効果有—吸水性無—母岩なし (ソリッドオパール)
- ② 天然—遊色効果有—吸水性無—母岩あり (On Host Rock) (ボルダーオパール)
- ③ 天然—遊色効果有—吸水性無—母岩あり (In Host Rock) (マトリックスオパール)
- ④ 天然—遊色効果有—吸水性有—ハイドロフェン (ハイドロフェンオパール)
- ⑤ 天然—遊色効果無————— (コモンオパール)
- ⑥ 処理石—処理石 (染、smoke 等) (処理石)
- ⑦ 処理石————— (はりあわせ)
- ⑧ 人工石 (人工石)



さらに、この中で、プレシャスオパールやエチオピアオパールには遊色の出方（赤系、緑系や見え方）やボディカラーごとにグレーディングスケールがあり、サンプルピースがセットされていました。コーディー氏にこれを印刷で作ってもらえればよいのでは、とか、みんなで写真をたくさん撮ったのですが、やはりオパールの魅力は遊色なので、石を見る方向や動きまでは実物を見ないとわかりません。ルーペでじっくり観察いたしました。さらに今回の勉強会では、参加者のみなさんが自慢のオパールをお持ちになり、15×6cm

くらいのもので、すごく大きな大変美しいボルダーオパールの原石や、素晴らしいネックレスやブローチに仕立てられたものなど拝見でき、大変楽しい時間でした。

オパールのグレーディングのためには、さらに遊色の色（回折色）の種類やパターン、石の大きさなどの要素がまだまだあり、このセットが最終的なグレーディング用ではないこともわかりました。次回は、コーディー氏の本にあるような、ハーレクインやリボンなどのパターンのあるオパールを是非拝見したいと思いました。ありがとうございました。

